

# ヒヤリハット事例

残土積み作業中、工事車両がバックしすぎて重機に接触しそうになった

種類	接触による重機の破損、作業員の負傷 運転者の確認不足や適切な指示の欠如
場面	建設現場での作業中。ダンプトラックが重機の残土を積み込むために後退した際に発生。
ヒヤリハットの状況	残土積み作業中、ダンプトラックがバック操作を誤り、隣接して作業中の重機に接触しそうになった。



© 2024 mcon7.com

原因	視界不良：バック時に運転席から重機が視界に入りづらかった。 誘導員の不在：適切なバック誘導を行う人員が配置されていない。 運転者の注意不足：バックモニターやミラーの確認不足。 作業計画の不備：重機と車両の間隔が十分に確保されていない。
兆候	ダンプトラックが後退中、車両後部と重機の間隔が徐々に狭まっている状況を、現場の作業員が目撃しており、注意しようと声をあげたが、機械と車両の窓が閉まっていたため聞こえていなかった。
予防と対策	事前計画: 配達ルートを事前に確認し、無理のないスケジュールを組む。 安全確認: 車線変更前に、サイドミラーや目視で後方を確認する。 教育訓練: ドライバーへの安全運転教育の徹底。
改善点と実行アクション	作業スペースを分けし、重機と車両が干渉しないようにする。 バックモニターやセンサーの機能が正常であることを確認する。 無線機やハンドサインを用いた作業員間の連携を強化する。